

指標 10.b.1

指標名、ターゲット及びゴール

指標 10.b.1 開発のためのリソースフローの総額（受援国及び援助国、フローの流れ（例：ODA、外国直接投資、その他）別）

ターゲット 10.b 各国の国家計画やプログラムに従って、後発開発途上国、アフリカ諸国、小島嶼開発途上国及び内陸開発途上国を始めとする、ニーズが最も大きい国々への、政府開発援助（ODA）及び海外直接投資を含む資金の流入を促進する。

ゴール 10 各国内及び各国間の不平等を是正する

定義及び根拠

○ 定義

開発のためのリソースフローの総額，受援国及び援助国によるもので，政府開発援助（ODA），その他の公的資金（OOF）及び民間資金から成る。

○ 概念

公的資金及び民間資金（開発途上国に対して譲許的なものと非譲許的なものとの両方）。公的資金における主な区別は，政府開発援助（ODA）とその他の公的資金（OOF）との間にあり，一方，民間資金は，市場の条件による資金と慈善の贈与とに分類される。資金の流れには，それ自体が公的機関である国際開発機関への拠出も含まれる。

○ 根拠及び解釈

リソースフローの総額は，ドナー国が開発途上国に対して供与する支出の全体を測るものである。

データソース及び収集方法

OECD/DAC は公的資金及び民間資金の流れについて，1960 年から合計額レベルで，1973 年からは Creditor Reporting System を通じた案件別レベルで，データを収集している（CRS データは，約束額は 1995 年から，支出額は 2002 年から，完全なものを見なされている）。

ドナーによるデータの報告は，同一の基準及び手法で行われる。

データの報告は，国の行政機関（援助機関，外務省，財務省など）の統計報告者により，毎暦年ベースで行われる。

統計報告者は，各ドナー国機関におけるデータ収集に責任を負う。

この統計報告者は通常、国の援助機関、外務省、財務省などに配置されている。

算出方法及びその他の方法論的考察

- 算出方法
開発途上国に対する公的資金と民間資金との合計。

- コメントと限界
なし

データの詳細集計

この指標は、フロー種別（ODA、OOF、民間資金）、ドナー、受取国、資金種別、援助分類などに分解可能。

参考

URL: www.oecd.org/dac/stats

参考: 全てのリンクはこちらから:

<http://www.oecd.org/dac/stats/methodology.htm>

データ提供府省

外務省

関連政策府省

担当国際機関

経済協力開発機構（OECD）